

Climbing Routes

第1学年テーマ▶明和の自然

目指す児童像

四季を通して自然に関わり、諸感覚を使って親しむことを通して、明和の楽しさに気づき、地域への愛着を持つ児童。

月	生活科	各教科等との関連の視点				ESD でつきたい能力・態度
		知識の深化 学習内容・認知	技能の活用 技能・リテラシー	価値の醸成 情緒・価値観	行動の変容 態度・行動	
4				音【さんぼ】 ・身近な自然		
5	・みんなでつうがくろをあるこう ◇やぎぶしはっぴょう(和の里)		国【ともだちにはなそう】 ・見つけたものの伝え方	図【すなや土となかよし】 ・自然を材料にした遊び		
6 6/5	【なつだあそぼう】⑨ ・くさばなやむしをさがそう うしくび山たんけんⅠ	音【うみ】 ・海の広さ、外国とのつながり	体【水遊び・着衣水泳】 ・水の楽しみ方、身の守り方		道【げんきでねあげはくん】 ・自然愛護	⑥つながりを尊重する態度
7	11月、1月にも追加。同じ場所に複数回関わることで、対象への気づきをより深めるため。 ・むしをさがそう	行◆尾瀬遠足 ・世界に誇る自然	国【えにつきをかこう】 ・経験したことの文章表現		道【おかしくないかな】 ・規則の尊重	
8						
9	・むしとなかよくなるろう【たのしいあきいっぱい】⑭ ・あきをさがそう ◇明和発見タイム(恵みの森散策)	国【かいがら】 ・想像を広げての理解	国【わたしのはっけん】 ・動植物の観察記録	道【そらいろのたまご】 ・自然愛護		⑥つながりを尊重する態度
10	・こうえんであきをさがそう ・はっぱやみであそぼう					
11 11/7	うしくび山たんけんⅡ ・みつけたあきをしょうかいしよう ・しゅうかくをいわおう			音【きらきらぼし】 ・夜空の美しさ ◆祖父母参観 ・冬の昔遊び		
12 12/9	さくらぐみをしょうたいしよう					
1 1/14 1/20	【ふゆをたのしもう】⑤ ◇だんごさし ・ふゆをさがそう うしくび山たんけんⅢ	国【はがぬけたらどうするの】 ・比較	体◆スキー・雪遊び ・雪の楽しみ方、体の動かし方			⑥つながりを尊重する態度
2	◇せつぞうづくり ◇でんとうげいのうはっぴょうかい	国【スイミー】 ・海の様子 国【まとめてよぶことば】 ・上位語・下位語				
3	【なつだあそぼう】 夏の公園や校庭で、身近な自然と関わり、それらを利用して遊ぶことを通して、遊びの面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりする。 【たのしいあきいっぱい】 秋の校庭や公園で、身近な自然と関わり、それらを利用して遊ぶことを通して、秋の自然や、夏との違いや変化に気づき、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりする。 【ふゆをたのしもう】 冬の校庭や公園で、身近な自然と関わり、それらを利用して遊ぶことを通して、遊びの面白さや自然の不思議さ、季節の変化に気づき、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりする。					

児童の実態

家庭や地域に守られ大切に育まれている。生まれたときから身近に存在する雄大で貴重な自然を、意識することなく生活している。

教師の願い

当たり前にある自然に目を向け、繰り返し関わることを通して、森や山の恵みで明和の自然を楽しみ、愛着を持つ。

目指す児童像

Climbing Routes

第2学年テーマ▶明和地区のよさ

地域の場所や、そこで暮らしたり働いたりする人々との関わりを通して、明和地区のよさに気づき、地域への愛着を持つ児童。

月	生活科	各教科等との関連の視点				ESD でつきたい能力・態度
		知識の深化 学習内容・認知	技能の活用 技能・リテラー	価値の醸成 情緒・価値観	行動の変容 態度・行動	
4	【春だ今日から2年生】⑤ ・春をさがそう					
5	【どきどきわくわく町たんけん】⑩ ・まちのことを話そう ・まちたんけんの計画を立てよう		国【こんなことがあったよ】 国【かんさつしたことを書こう】	音【山びこごっこ】 ・山間部ならではの遊び 		
6 6/11	◇和の里訪問(八木節発表) ・まちたんけんに行こう ・見つけたことを教え合おう			図【ひかりのプレゼント】 ・自然を材料にした遊び	道【ぼくのカブトムシ】	③つながりを尊重する態度
7		行◆尾瀬遠足 ・世界に誇る自然  	体【水遊び・着衣水泳】 ・水の楽しみ方、身の守り方 	道【森のみんななど】 		
8						
9	◇明和発見タイム(恵みの森散策)  	国【言いつたえられているお話を知ろう】 ・只見に伝わる昔話		音【虫の声】 ・身近な自然の声に耳を傾ける 	生◆明和発見タイム 国【ありがとうをつたえよう】  	
10		国【ビーバーの大工事】 				
11 11/19	【もつとなかよし町たんけん】⑨ ・町たんけんの計画を立てよう ・もういちどたんけんに行こう ・町の人となかよくなるよう ・なかよくなった人のことをしょうかいしよう				国【名人をしょうかいしよう】 ・地域の人の紹介	③つながりを尊重する態度
12	【つたわる広がるわたしの生活】⑧ ・つたえたいなまちのすてきなできごと ・つたえるじゅんぴをしよう ・もつとくわしくしらべよう ・まちのすてきをつたえよう					③つながりを尊重する態度
1	◇だんごさし		体◆スキー・雪遊び  ・雪の楽しみ方、体の動かし方			
2	◇せつぞうづくり ◇でんとうげいのうはっぴょうかい			道【大きなあれしあわせになあれ】		
3	【どきどきわくわく町たんけん】 学校のある小林地区の自然や建物などに目を向け、散策することを通して、明和地区について考え、新たな発見をしたり、明和地区に親しみをもって生活したりする。 【もつとなかよし町たんけん】 学校のある小林地区で暮らす人や働く人に目を向け、地域の人々と関わる活動を通して、それらの人々と自分達の生活との関わりに気づき、明和地区のよさについて考えていく。 【つたわる広がるわたしの生活】 地域の人々と関わったことを振り返り、明和地区のよさについて発表する活動を通して、地域の環境・地域の人々のよさを認識するとともに、地域に主体的に関わっていくとする。					

「なかよくなった人のしょうかい」を3学期へ移動。2学期に回れなかった見学場所に3学期行くため。

生活科と関連させて、3学期へ移動。町探検終了後実施。

町探検終了後の3学期に、まとめを行った。

児童の実態

「只見町に足りないものは？」という質問に対して、「自然」と回答をする児童もいる。只見町や明和地区、つまり自分たちの住んでいる地域についての知識・理解はまだ足りない。

教師の願い

明和地区の自然や店、人とのかかわりを通して、友達と関わり合いながら、地区のよさに気付くことができる。

Climbing Routes

第3学年テーマ▶只見町のよさ

目指す児童像

地域から町全体に視野を広げて、自然豊かな山間部での暮らしのよさを実感することを通して、他地域とのつながりや外から見たよさに気づき、ふるさとに愛着を持つ児童。

月	総合的な学習の時間	各教科等との関連の視点				ESDでつきたい能力・態度
		知識の深化 学習内容・認知	技能の活用 技能・リテラー	価値の醸成 情緒・価値観	行動の変容 態度・行動	
4	・オリエンテーション 【明和の美味しい作物を育てよう】⑩ ◇種をまこう 【只見町のよさを見つけよう】⑫ ・只見町のいいところはどんなこと？ (自然、生き物、食べ物、人など)	理【種をまこう】 ・植物の芽生え				⑥つながりを尊重する態度
5	◇畑の手入れをしよう	理【どれぐらい育ったかな】 ・植物の育ち方				
6 6/5	*3校合同下福井の森散策  			音【今月の歌】 ・夏の思い出 		
7	・只見町の自然(調べ学習)	行◆尾瀬遠足 ・世界に誇る自然  	国【インタビューをしてメモを取ろう】 ・尾瀬インタビュー			
8	◇収穫しよう ・只見町の自然(まとめ)	理【花がさいたよ】 理【実ができたよ】 ・植物のつくり				
9	・只見町の自然(発表) ◇明和発見タイム (癒しの森散策)	社【農家の仕事】 ・トマト農家見学 ・花農家見学 				
10	◇畑の手入れをしよう ・只見の暮らしについて考えよう (道具、料理、祭りなど)	社【古い道具と昔の暮らし】 ・道具や暮らしの変化	総【学習発表会】 ・只見町の自然発表	道【心をつないだ合言葉】 ・国や郷土を愛する態度		
11	◇畑の手入れをしよう(片付け) 【只見の美味しいもの】⑨ 		国【調べて書こう、わたしのレポート】 ・特産物調べ			⑥つながりを尊重する態度
12	【小林早乙女に挑戦しよう】⑪ ・早乙女踊りって何？ (歴史、言い伝え、踊りなど)				道【三本えだのモミジの木】 ・自然愛護	⑥つながりを尊重する態度
1	・小林早乙女の練習		体◆スキー ・雪の利用			
2	◇伝統芸能発表会 ◇明和っ子雪まつり					
3				道【にんじんのかざり切り】 ・伝統と文化の尊重		

今年度独立させた。
下福井の森散策で児童が町の自然に興味をもつため。

【只見のよさを見つけよう】

2年生までにじっくり関わってきた地域のよさから視野を広げて、自然、食文化、人などの「只見町のよさ」に触れたり、他地域から見た只見町のよさを知ったりする。また、只見町のよさを他地域に住む人や身近な人に伝える。

【只見の美味しいもの】

只見町の特産物や郷土料理を調べたり、学んだりすることで、他地域で採れるものとの違いを知ったり、郷土料理の材料を通して他地域とも関わっていることに気付いたりする。

【小林早乙女に挑戦しよう】

地域で守られてきた伝統芸能「小林早乙女」を体験することで、郷土の歴史や地域の人たちが伝統を守ってきたことに触れ、自分たちも進んで関わっていかうという意識をもつ。

児童の実態

地域のよさについて、よく知っている。自然に親しみ、自ら進んで関わろうとする。自分たちの暮らす町の自然の豊かさを感じながら生活している。

教師の願い

ユネスコエコパークに認定される自然豊かな只見町の山間部の暮らしのよさを実感してほしい。また、他地域とのつながりを意識し、外から見た只見町のよさに気付いてほしい。

Climbing Routes

第4学年テーマ▶水とのかかわり

目指す児童像

社会の諸問題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組んでいこうとする主体性や問題を見出し解決を図ろうとする態度を持つ児童。

月	総合的な学習の時間	各教科等との関連の視点				ESD でつきたい能力・態度
		知識の深化 学習内容・認知	技能の活用 技能・リテラシー	価値の醸成 情緒・価値観	行動の変容 態度・行動	
4	【身近な地域の水の循環について知ろう】⑩ ・只見を流れる川について知ろう					
5	・地域の水の循環について考えよう					
6	・川の水の原水を探ろう 	社【水はどこから】 ・水の循環について知る	国【みんなで新聞を作ろう】 ・情報の精選			
7	◇尾瀬遠足 				行◆尾瀬遠足 ・環境保全  	
8						
9	【只見町の自然について知ろう】⑭ ・ブナ森の役割について考えよう ◇明和発見タイム (癒しの森散策)  		国【わたしの考えたこと】 ・文章構成の仕方			
10	・只見町の川の水質を調査しよう ◇学習発表会 	社【谷にかこまれた台地に水を引く】 ・大倉地区水路掘削		道【自然や動植物を大切に】 ・自然愛護  		③多面的、総合的に考える力
11	【自然を守る取り組みについて考えよう】⑩ ・自然を守る取り組みについて気づく ・只見町の自然を守るためにできることを考える	理【水のすがたと温度】 ・水の状態変化				③多面的、総合的に考える力
12	◇只見おもしろ学検定 	社【日本地図を引く】 ・47都道府県の特徴や名称と位置 理【自然のなかの水のすがた】 ・水の自然蒸発と凝結				
1			体◆スキー ・雪の利用			
2	◇明和っ子雪祭り ◇伝統芸能発表会			道【石っこけんさん宮沢賢治】 ・自然愛護		
3	【身近な地域の水の循環について知ろう】 只見町を流れる川の流れについて知ることを通して、川の水はどこからきてどこへいくのか考える。只見町の地下水の利用についても知ることで只見町の水の純度についての意識ももたせる。また、水の循環について考え、尾瀬遠足への動機付けを行う。 【只見町の自然について考えよう】 癒しの森散策や伊南川の水質調査をすることを通して、只見町の自然について理解を深める。只見町の自然の豊かさを実感し、自然を守る取り組みについて考えをつなげていく。 【自然を守る取り組みについて考えよう】 川の流れをたどり、海とのつながりを実感し、只見町の自然について理解を深めたことを通して、自然を守るための取り組みについて考えたり、身近な自然を守っていこうとする気持ちを高めたりする。					

12月に実施。
食物連鎖や海の生き物へかかわる内容のため、川の道筋をたどった児童の思考の流れに合わせた。海の環境保全の視点も交えて取り扱った。

児童の思考の流れに基づき、「海と森とのつながりについて考えることができる。」に変更。

海の視点を交え、1・2月に実施。内容も只見の自然だけではなく、「地理的に広い視野をもって身の回りの自然を守っていくことの意義に気付く。」に変更。

児童の実態

只見町を流れる川の水がきれいだと全員の児童が思っているわけではないことや只見町の自然豊かな場所で見られない生物の貴重さに気づいていない児童が多いことから、多くの児童が只見町の自然の豊かさの価値に気づいていない。

教師の願い

他教科と関連して知識を得たり、実際に身近な地域の自然に触れたりすることを通して、町の貴重で豊かな自然について知り、それらを守ろうとする意識を高めることができる。

Climbing Routes

第5学年テーマ▶農業・食・自然

農業体験、見学学習、自然や他地域とのつながりを考えることを通して、只見の人・もの・ことの魅力を知り、郷土への誇りを持つ児童。

月	総合的な学習の時間	各教科等との関連の視点				ESD でつきたい能力・態度
		知識の深化 学習内容・認知	技能の活用 技能・リテラシー	価値の醸成 情緒・価値観	行動の変容 態度・行動	
4	・4年生までの学習のふりかえり	理【天気の変化】 国【一つの言葉から】				
5 5/22	【只見の農業について学ぼう1】 ⑫ ・田植え体験 ・ねっか見学		国【新聞記事を読み比べよう】 ・比較	家【おいしい楽しい料理の力】 ・実践から学ぶ		③多面的、総合的に考える力
6	・みそ仕込み体験 【話を聞いて学ぼう】⑩	社【くらしを支える食料生産】 社【米づくりの盛んな地域】	社【くらしを支える食料生産】 社【米づくりの盛んな地域】	道【地球のステージ講演会】	行【宿泊体験学習】	
7	・さんべ農園 三瓶さん ・ねっか代表 脇坂さん ・明和見守り隊		国【立場を決めて討論しよう】 ・考えを広げる、深める	道【尾瀬遠足】 ・自然を誇る		③多面的、総合的に考える力
8						
9 10/3	・八十里越え体験 【只見の農業について学ぼう2】⑫ ◇明和発見タイム (トマト選果場、農園見学) ・稲刈り体験	社【水産業のさかんな地域】	国【資料を生かして考えたことを書こう】 ・観察の視点	道【手品師】 ・正直、誠実		
10	【感謝の会を開こう】⑩ ・只見の米で只見のみそで只見の食材で作ろう～他地域とのつながり	理【流れる水のはたらき】	国【物語のよさを解説しよう】	家【食べて元気！ごはんのみそ汁】	行【学習発表会】	③多面的、総合的に考える力
11 11/20	・只見でおいしい米やトマト、みそを作ることができるわけ ・感謝の会	社【工業生産】			行【感謝の会】	
12						
1	【只見のすばらしさを発信しよう】⑥ ・パンフレットを作ろう ・ねっか見学		国【伝えよう委員会活動】 ・情報発信	体◆スキー ・雪の利用		
2	◇明和っこ雪まつり ◇伝統芸能発表会					
3	<p>【只見の農業について学ぼう】 さまざまな体験活動や地域の方々との関わりを通して、他地域に誇れるおいしい農作物を生産することのできる理由や生産者のこだわりを知り、只見で生活することに愛着を持つ。</p> <p>【感謝の会を開こう】 感謝の会に向けた献立を考えることを通して、献立に込めた自分の思いを自覚させ、感謝の思いを高めさせる。また、只見で生産されたものだけでなく、他地域で生産されるものも使うことを知り、ものや人を通した他地域とのつながりを考える。</p> <p>【只見のすばらしさを発信しよう】 これまでに体験したことを通して学んだ只見のよさを他地域に住む人たちに紹介するためのパンフレット作りを行う。</p>					

この時期に限らず、田植え・稲刈り体験などに合わせて、その都度学習していった。

体験でできたお米やみそを使って学習するために10月後半～11月に実施した。

児童の実態

只見のことが好きだと答える児童が多い。只見のよさを自分なりに表現したり、様々な立場や視点から多面的に考える機会はまだまだ少ない。

教師の願い

「楽しかった」「よくしてもらった」「おいしかった」という思いを持つことができる体験を重ねることで、只見のよさを実感し、伝えようとするができる。

Climbing Routes

第6学年テーマ▶町づくり

目指す児童像

只見町の将来の担い手として、郷土への誇りと愛情を持つ児童。
山と海とのつながりを考えることを通して、社会の諸問題についても広い視野を持ち、町の未来に貢献できる児童。

月	総合的な学習の時間	各教科等との関連の視点				ESD でつけたい能力・態度
		知識の深化 学習内容・認知	技能の活用 技能・リテラシー	価値の醸成 情緒・価値観	行動の変容 態度・行動	
4	【只見町について知ろう】⑫ ・只見の良さや課題を考えよう 	国【イースター島にはなぜ森林がないのか】 ・自然や環境について考える 				
5	・自分の願う只見町の姿を考えよう	保護者へのアンケートも追加で実施。いちばん身近にいる家族がどう考えているか知ること、児童の思考が広がると考えたため。				②未来像を予測して計画を立てる力
6 6/28	・地域の方の考える只見町の現状や未来への願いを知ろう(GT)		国【新聞の投書を読んで意見を書こう】 ・考えの発信	行【修学旅行】 ・只見町PR活動		
7	◇尾瀬遠足				行◆尾瀬遠足 ・環境保全 	
8	・八十里越を調べよう(GT)				 	
9 9/3	【只見町の未来を考えよう】⑬ ・つながる地域の文化や産業を調べよう ・子ども議会に参加しよう ◇明和発見タイム  	国【海のいのち】 ・人間と自然の共生				
11月→10月に変更。本文が町づくりの提案に大いに関連する内容だったため。						
10	・町づくりについて考えよう 	国【町の幸福論】 ・提案の仕方 ・町づくりについて		道【自然とともに生きる】 ・自然を守る  		②未来像を予測して計画を立てる力
11 11/22	・町づくりについて話し合おう 【只見の未来像を発信しよう】⑭ ・只見の未来像を発信しよう 		外【I like my town】 ・町の紹介			
12	◇只見おもしろ学検定  		図【ドリームプラン】 ・町づくり 	道【郷土を思う心】 ・郷土愛		
1			体◆スキー ・雪の利用			②未来像を予測して計画を立てる力
2	◇明和っ子雪祭り ◇伝統芸能発表会 ◇つる細工教室	<p>【只見町について知ろう】 只見町の現状について話し合ったり、地域の方からお話を伺ったりして只見町のことを知ることを通して、改めて只見について考え、新たな発見をしたり、町づくりに生かしたりする。</p> <p>【只見町の未来を考えよう】 只見町について理解を深めたことを振り返ったり、それぞれの考えを交流したりすることを通して、只見町の未来について具体的に構想していく。</p> <p>【只見の未来像を発信しよう】 学習したことを生かし、町づくりについて考えたことを発信することを通して、自分自身の考えや新たな課題を自覚したり、地域に貢献しようとしていく意欲を高めたりしていく。</p>				
3						

児童の実態

只見のよさや課題を捉え、只見が好きで将来も住みたいと思っている児童が多い。しかし、町のことを真剣に考えたり、町のために貢献しようとしていく機会が少ない。

教師の願い

今までの学習を想起したり、様々な人の話を聞いたりして、只見についての理解を深めることを通して、町や社会に貢献することができる。

【研究主題】 郷土への誇りと愛情を育み、
 広い視野を持ってその未来に貢献できる児童の育成を目指して
 ～ESDを基盤とした海洋教育の推進～(2年次)

【研究仮説】
 これまで培ってきたESDの成果を基盤とし、地域から海洋へと視野を広げ、自然・環境・歴史・文化など、多様な角度から学習を展開すれば、一層郷土への誇りと、愛情を深めることができるだろう。

明和小学校 海洋教育システム表

学年	テーマと目指す児童像	主な体験活動	海洋教育の視点
6	町づくり 只見町の将来の担い手として、郷土への誇りと愛情を持つ児童。 山と海とのつながりを考えることを通して、社会の諸問題についても広い視野を持ち、町の未来に貢献できる児童。	GTへのインタビュー GTの願いを知る 子ども議会参加 尾瀬遠足 トマト見学・選果場見学 つる細工体験	これまでの学習を総合し、海を経た広い視野から、故郷の強みを生かした持続可能な町づくりを考える。
5	農業・食・自然 農業体験、見学学習、自然や他地域とのつながりを考えることを通して、只見の人・もの・ことの魅力を知り、郷土への誇りを持つ児童。	田植え・稲刈り体験 ねっか見学 味噌仕込み体験 八十里越体験 GTの願いを知る 尾瀬遠足 トマト選果場・農園見学 伝統芸能体験	水を生かした農業について学び、人やものを通したつながりから、故郷を捉え直す。
4	水とのかかわり 社会の諸問題を自らの課題として捉え、身近なところから取り組んでいこうとする主体性や問題を見出し解決を図ろうとする態度を持つ児童。	伊南川見学 伊南川水質調査 尾瀬遠足 癒しの森散策 伝統芸能体験	豊かな水は豊かな森からできること、地域の川から世界の海までのつながりや循環に気付く。
3	只見町のよさ 地域から町全体に視野を広げて、自然豊かな山間部での暮らしのよさを実感することを通して、他地域とのつながりや外から見たよさに気付き、ふるさとに愛着を持つ児童。	森見学 他校との交流 尾瀬遠足 癒しの森散策 伝統芸能体験	他地域と結び、地域を俯瞰的に捉えることで、当たり前だった地域の価値を再認識する。
2	明和のよさ 自然や商店、明和で暮らしたり働いたりする人々との関わりを通して、その環境のよさに気付き、地域への愛着を持つ児童。	町探検 尾瀬遠足 恵みの森散策 伝統芸能体験	地域で働く人に関わり、自分と地域のつながりを実感する。
1	明和の自然 四季を通して自然に関わり、諸感覚を使って親しむことを通して、明和の楽しさに気付き、地域への愛着を持つ児童。	校庭探検 牛首山探検 尾瀬遠足 恵みの森散策 伝統芸能体験	自然体験の中で感覚を豊かにし、対象への好奇心を育む。



未来像を予測して計画を立てる



多面的・総合的に考える



つながりを尊重する

ESD一只見学

只見のよさを学び、故郷への誇りと愛情を深め、
 地域や社会の持続発展に寄与する学習活動の推進

- 地域人材の活用 □伝統文化の継承 □自然との共生

